

平成 27 年 5 月 1 日

関係大学長殿
関係学部等の長殿
関係機関等の長殿

国立大学法人宇都宮大学
農学部長 杉田 昭栄

教員の公募について（依頼）

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、国立大学法人宇都宮大学農学部生物資源科学科では、下記の要領で教員を公募することになりました。つきましては、誠に恐縮ですが、関係各位にお知らせくださるとともに、適任者の応募、推薦についてよろしくお取りはからいます様、お願い申し上げます。

なお、本件は、本学ホームページ（※）の教員公募にも掲載しております。

（※）<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/outline/saiyou.php>

謹白

記

1. 公募条件

（1）専門分野と人員：応用昆虫学分野の准教授 1 名

（2）担当授業科目：害虫防除学、昆虫生態学、植物保護学の他、これらに関する実験・実習科目、並びに大学院修士課程の講義・実験・研究科目。また、卒業論文や修士論文の指導。なお、生物資源科学科の必修科目や初期導入・リテラシー・自然科学系科目等の基盤教育科目を担当する場合があります。

（3）応募資格：次の要件を満たす者

①博士の学位（外国において授与された方はこれに相当する学位を含む）を有する者。

②昆虫の生態、害虫防除、植物保護等に関する優れた研究業績を有し、学部生、大学院生の教育並びに研究指導に熱意をもち、学部・学科等の大学運営に関わる業務に積極的に取り組める者。

2. 女性の応募について

本学は男女共同参画社会基本法の趣旨に沿って、女性の積極的な応募を歓迎いたします。また、本学では、子育てと仕事の両立支援策を推進しています。峰キャンパス内には「宇都宮大学まなびの森保育園」（<http://www.manabinomorihoikuen.org/>）があります。

3. 提出書類

（1）履歴書（本学所定様式を使用し、署名捺印すること。年齢は記入日現在とする。）

（2）業績調書

・著書、論文、学会発表及び研究報告等（本学所定様式を使用し、著書、論文、学会発表、その他に分けて記載すること。）

- ・学会活動、社会活動等（本学所定様式を使用し、学会活動、社会活動、その他に分けて記載すること。）
 - ・外部資金獲得状況（本学所定様式を使用し、記載のこと。）
 - ・教育実績（本学所定様式を使用し、記載のこと。）
- (3) 教育・研究における抱負（本学所定様式を使用し、A4版用紙にそれぞれ1,000字程度記載すること。）
 - (4) これまでの研究内容（A4版用紙に2,000字程度。様式自由）
 - (5) 社会貢献に対する抱負（A4版用紙に1,000字程。様式自由）
 - (6) 応募者の研究、人物等について照会できる方（2名）の氏名・連絡先
 - (7) 主要な学術論文10編以内（別刷りまたはPDFを印刷したもの）

なお、様式（1）～（3）は
本学HP（<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/outline/saiyou.php>）よりダウンロードするか、下記に請求してください。

請求先：農学部総務係 石川 香緒莉

e-mail：ishikawa@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

TEL：028-649-5399, FAX：028-649-5401

4. 応募締切：平成27年6月15日（月）必着

5. 応募書類の送付および問い合わせ先

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

宇都宮大学農学部生物資源科学科 平井英明 宛

e-mail：hirai_at_cc.utsunomiya-u.ac.jp（_at_を@に置き変えて下さい。）

※封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留にて送付してください。

6. 採用予定時期：平成27年10月1日以降のなるべく早い時期。

7. 選考方法

書類選考後、最終選考にあたっては、平成27年6月27日（土）に面接・プレゼンテーションを行います。面接・プレゼンテーションのための交通費は自己負担となりますのでご了承ください。

8. 応募時に提出される個人情報の取り扱いについて

(1) 応募時に提出された書類の個人情報については、採否の検討および決定に限って使用いたします。

(2) 応募書類（別刷りまたはPDFを印刷したものを含む）は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

<付記>

本学部は、東京農工大学および茨城大学とともに後期のみの博士課程大学院（東京農工大学大学院連合農学研究科）を構成しており、採用後は連合農学研究科の指導教員資格審査を経て博士課程の教育研究の指導にも携わって頂くこととなります。

宇都宮大学は地域の「地（知）の拠点」として地域社会から期待・信頼され、広く社会に貢献する開かれた大学として、「グローバル化社会への対応」、「イノベーション創出」、「活力ある持続可能な地域社会の形成」を目指して、教育・研究・社会貢献を推進しています。

農学部では生命の営みを遺伝子レベルから個体レベル、集団レベルにおいて研究して、食料生産およびヒトが健康に生きるための食品や日用品の開発、地球上の生態系の保全にも貢献することを目指しています。

生物資源科学科では食料等の人の生存に欠かせない生活資材を生産する生物資源の機能解明と開発を通じて、生物資源の持続的生産と、地域から地球に至る環境の保全を図るための基本的・応用的な教育研究を行います。生物資源の合理的な生産と利用に関する理論と実践力を身につけ、グローバルな視点を持ち、農業や関連産業に貢献できるスペシャリストでありながら、ジェネラルな素養を持つ人材を養成します。このような視点に立ち共に教育、研究、社会貢献を担っていく人材を求めています。

なお、学科の概要についてはホームページ（<http://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/>）を参照してください。